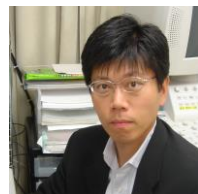




これまでの医師人生を振り返って ～①初々しい(?) 大学病院での研修医時代～

医療法人社団 有晃会 理事長 船本 全信



早いもので、平成13年7月にふなもとクリニックを開院してから、丸10年経過しました。

今年「開業」10周年ですが、平成3年に卒業した私は「医師」20周年に当たります。そこで、これまでの医師人生を振り返ってみたいと思います。

私は、広島大学を卒業し医師国家試験に合格した後、大阪大学第3内科(現 呼吸器・免疫アレルギー内科)に入局しました。当時はJR大阪環状線福島駅前に大学病院があり、かの有名な「北新地」が眼と鼻の距離にありました。しかしその華やかなりし楽園は、安月給の研修医には近くて遥かに遠い場所でした。皆さんご存知でしょうか? 当時研修医だった私の給料は、今の「9時から5時まで」と労働基準法にのっとった勤務時間ではなく、朝7時から夜9、10時以降まで働いて手取り10万少々でした(涙)。でも、研修医は大学病院で実地臨床医学を学びながらですから、授業料が天引きされていると考えれば当然です。だって、今は偉そうな(?)顔をしている私ですが、勤務初日に受け持ったがん患者の嘔吐に対応できず、ただ手を握って背中をさすってナースコールを押しただけ(!)でしたから。というのも、医師になりたての頃は診断や治療方法は知っていても薬の一般名迄は知らないのです。制吐剤のメトクロプラミドという成分名は知っていても、一般名のプリンペランまでは知らないのです。さらにはジェネリック・他メーカーまで含めると山ほどあり、病院によって採用している薬は違うのです。患者の「早く何とかしてくれ」という懇願の眼差しに冷や汗だらけでしたが、その時のナース(天使に見えました♡)に「こういった時はこのお薬よ」と教えてもらい、アンプルの名前を目に焼き付けながら患者さんに注射をした次第です。そんなことがあって以来、「風邪薬は～」 「腹痛の時の内服薬は～」 「もし注射なら～を」 「でも副作用は～で」 「こういった患者には～禁忌で」・・・と英単語を覚えるようにひたすら暗記の毎日でした。薬の一般名は共通言語ですから、適切な薬品名が出てこないと病棟業務ができないので必死でした。

大学病院の生活は、朝の採血当番から始まります。朝の配食サービスが終わるまでに完了しなくては、集配係が検査センターへ持って行ってくれず自ら持参しなくてはなりません。幸い手先の器用だった私は、採血や注射に悩むことなく、研修医の中でも切り札的存在でした。その後仲間と所要時間「5分」で喫茶部のモーニングを食べ、午前の患者の診察や検査の補助・必要な検査の指示業務です。当時は、今のようにコンピューターによるデータ管理ではなく、全て手書き入力でした。そのため週末には、受け持ち患者の翌週検査用に、採血・胸部レントゲン・CT・検尿といった山ほどの指示箋を書き、カルテには1週間の患者経過をまとめ、更に翌週からの方針を記入するので手が痛くなりました。お昼は職員食堂でいつも通り「5分」で済ませ、各々週1回の教授回診・各研究室長回診の準備に取り掛かります(食事時間が5分程度と短いのは、当時研修医が肌身離さず身につけていた「ポケベル」のせいなのです。こちらの都合ではなく、患者の容態に合わせて急に鳴るので、食事は取れるときに取っておかないと「食事抜き」になるので必然的に早く済ませようになりました。この癖は今でも抜けず、往診車の中で役立っています。)。教授回診は、まさしくテレビ「白い巨塔」等で有名な大名行列です。当時の教授は、ノーベル賞候補に上げられている「切れ者」岸本忠三先生でしたから、それはピリピリ張り詰めた雰囲気の中で行われました。そして回診が終わると、その時出た「宿題」の整理です。次週までに結論を出さないといけません(汗)。必死で頭を下げまわり、追加検査を予約一杯の枠の中に捻じ込んでいきました。夕方からは、指導医の先生(関連病院から戻ってきた臨床バリバリの医師でした)と受け持ち患者についての検討会と返ってきた検査データの整理です。じっくり腰を落ち着けて書類整理をしたいと思っても、患者の容態変化で手を取られてしまい、結局夜10時過ぎて「ホッと一息」っていうこともしょっちゅうでした。病棟は8時消灯でしたから、その時間に真っ暗な中をごそごと動いているので、口さがない病棟のナースからは「まるでゴキブリのようね」言われたりもしました(涙)。そんなヒヨコの研修医たちも、一年たてばそれなりに格好が付いて、バラ色の関連病院に巣立っていきます。(次号に続く)

8月の予定

エコー検査	井上 Dr.	18(木)・20(土)
	杉山 Dr.	5(金)・19(金)・26(金)
専門外来(血液・消化器)	谷口 Dr.	10(水)・24(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	6(土)・20(土)
食事相談	宮本管理栄養士	8(月)・22(月)



9月の予定

エコー検査	井上 Dr.	3(土)・17(土)
	杉山 Dr.	2(金)・9(金)・16(金)・30(金)
専門外来(血液・消化器)	谷口 Dr.	14(水)・28(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	3(土)・17(土)
食事相談	宮本管理栄養士	12(月)・26(月)



～ふなもとクリニックは10周年を迎えました～

受付より

みなさまに支えられて、当ふなもとクリニックは10周年を迎えることができました。

スタッフ一同、「皆様に信頼され安心できるクリニック」をめざして、より一層の努力をしていきたいと思っております。昨日より今日、今日より明日への「より良き」の為に、

皆様のお気づきになられたことなどございましたら、どんな些細なことでも結構ですのでご指導の程、よろしくお願ひいたします。

～ふなもとクリニックは、これからも「より良き医療」「より良き何か」を求め続けます～



禁煙外来

“そろそろタバコをやめたい”
と思っておられるかた、当院では
禁煙外来も行っております。

是非ご相談下さい。



☆保険証提示のお願い☆

保険証が変更(負担割合変更も)になった場合は、変更後最初の受診時には、月の変わり目に関係なく必ずご提示下さい。また、月1回の保険証提示にもご協力下さい。宜しくお願ひ致します。

夏季休診のお知らせ

ご不便おかけしますが、以下の期間は夏季休診と致します。

8月11日(木)～8月14日(日)

定期薬の処方を受けておられる方はお気をつけください。

